

卒業式の思い出

今日 3 月 25 日は名古屋市立大の卒業式だ。退職してもう 2 年経つが、卒業式が懐かしく思い出される。

今年は「現役」最後の年に社会調査実習を担当していた学生(当時 2 年)が卒業する。早いものだ。この調査実習「山田班」の 12 人の学生には愛着がある。写真は調査実習報告書だ。その最後に「人文社会学部の創設以来、社会調査実習を担当してきたが、私にとって今回の調査実習が最後である。最後にして、いちばん「まとまり」があり、印象に残る実習であった。12 人のメンバーに感謝したい」と書いた。先日、「昼食会」を開いてくれた。久しぶりに学生に囲まれて本当に嬉しかった。まちづくりや地域政策、交通などに関心のある学生が多く、公務員や JR などに就職する。



卒業式の日、ある時からゼミ生に卒論報告やコンパの写真と同封して、「手紙」を手渡すことにしてきた。調査実習「山田班」のメンバーにも、「卒業おめでとう！ あまり無理せず、奮闘努力を」と一言述べたい。

今年の卒業式は鶴舞公園にある「名古屋市公会堂」が会場のようだ。この公会堂での卒業式には、忘れられない思い出がある。

写真は 2006 年 3 月 25 日、学部長 2 年目、最後の卒業式だ。レポートにも書いたが、卒業式を前に卒業を予定していた学生に「不幸な出来事」が起こった。現役時代のころ、一番辛かったのが、こうした悲しい出来事だ。学部長として卒業式でどう「対応」するか、動揺していたクラスメイトらと話し合った。卒業式にはご両親と妹さんが出席され、妹さんに卒業証書を「授与」することにした。

学部・研究科ごとに分かれて、卒業証書授与の会があり、最初に私が「祝辞」を述べた。悲しい出来事には直接触れず、恩師からもらった言葉「よく耐えて 時の力を たのむべし」で話を締めくくった。



(2016 年 3 月 25 日)